



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,223	9.5	102	—	120	—	66	—
2019年3月期第2四半期	3,855	△2.3	△57	—	△36	—	△44	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 35百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △48百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	36.18	—
2019年3月期第2四半期	△24.20	—

※ 2018年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,999	6,823	67.8
2019年3月期	10,294	6,884	66.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,779百万円 2019年3月期 6,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,910	0.0	310	1.0	360	1.7	230	0.0	125.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	1,876,588株	2019年3月期	1,876,588株
2020年3月期2Q	68,024株	2019年3月期	47,630株
2020年3月期2Q	1,824,531株	2019年3月期2Q	1,829,336株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 2018年10月1日付で、普通株式5株を1株の割合をもって株式併合を実施しております。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、国内では消費税の引き上げによる景気悪化への懸念、海外では米中貿易摩擦や欧州の政治情勢等の影響など、依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の安全・安心への関心は依然高く、「食品等事業者」へのHACCP(ハサップ)の導入義務化を翌年に控え、一段と高い品質・衛生管理体制の整備が求められております。また、経営面では、少子化が進み量的な拡大が見込めないなか、製造コストの増加傾向が今後も強まっていくものと思われます。とりわけ、輸入原材料等に多くを依存していることによる為替変動リスクに晒されているほか、エネルギーコストや物流コストの上昇など負担は益々増大しております。また、本年10月からの消費税増税では、軽減税率の導入など負担軽減の措置により短期的な影響は少ないと考えられるものの、長期的には消費者の節約志向はさらに強まるものと予想されます。

このような状況のなか、当社グループでは、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000の認証取得及びバージョンの更新を引き続き実施しており、品質の維持・向上や合理化のための設備投資を継続的かつ積極的に行っております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主要事業である凍豆腐などが、前連結会計年度に続き好調に推移したことから、売上高は42億2千3百万円(前年同期比9.5%増)となりました。利益面では、品質のさらなる向上のための費用や増産投資等に伴う減価償却費や諸経費等の増加がありましたが、製造コストの上昇を抑えるための生産体制の継続的改善や製造技術の向上などに従来以上に注力してまいりました。これらの業績改善施策に加え増収効果もあり、営業利益は1億2百万円(前年同期は5千7百万円の損失)、経常利益は1億2千万円(同3千6百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6千6百万円(同4千4百万円の損失)と増加いたしました。部門別概況は、次のとおりであります。

[凍豆腐]

凍豆腐では、引き続き市場の拡大・活性化を図る方針であり、当第2四半期連結累計期間におきましても継続して活動してまいりました。また、当社グループの食品研究所にて、健康機能性について積極的に研究を進め、業界を挙げて製品価値の訴求に努めてまいりました。その結果、売上高は20億4千7百万円(同16.4%増)と大きく増加いたしました。営業面では、消費者の皆様に対し凍豆腐の健康機能性を分かり易くお伝えするため、業界では初の機能性表示食品として認可を受けた商品を発売いたしました。また、特許申請しておりました「新あさひ豆腐」に採用した減塩化製法は、本年7月に特許を取得いたしました。なお、日本初となるグローバルGAP認証大豆を使用した新商品「なめらかおからパウダー」の発売(10月7日)に向け活動するなど、市場の活性化に努めてまいりました。

[加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、単品収益管理の徹底を一層図るとともに不採算アイテムの改廃を進め収益力の改善に引き続き努めております。なかでも前連結会計年度から、大手流通や老舗料亭との共同企画商品の開発・発売や当社の強みを活かした「納豆汁」のアイテムアップに注力したほか、昨今注目されているロカボ(低糖質)をコンセプトとした「食・楽・健康協会」認証の商品「カップサラダチキンスープ」2アイテムを発売するなど売上高の増加に注力してまいりました。その結果、売上高は11億2千5百万円(同6.5%増)となりました。

[その他食料品]

その他食料品では、売上高は10億5千万円(同1.1%増)となりました。その中で、医療用食材において消費者庁より本年6月に嚥下困難者用食品として特別用途食品の表示許可を受けた冷凍介護食カットグルメブランド商品の「ふんわりなめらかこうや」(トレイタイプ)を発売いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べ2億9千4百万円減少し、99億9千9百万円（前連結会計年度比2.9%減）となりました。資産については、増産投資に伴う有形固定資産の増加2億2千7百万円や、年末の最需要期に向けたたな卸資産の増加7千5百万円により増加したものの、現金及び預金の減少4億1千4百万円や受取手形及び売掛金の減少1億5千3百万円により減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ2億3千3百万円減少し、31億7千5百万円（同6.9%減）となりました。負債については、未払金の増加1億8千2百万円や支払手形及び買掛金の増加4千5百万円により増加したものの、長期借入金の減少2億3百万円や、短期借入金の減少4千9百万円、賞与引当金の減少6千8百万円により減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ6千万円減少し、68億2千3百万円（同0.9%減）となりました。これは、譲渡制限付株式報酬制度実施に伴う払い出しと、経営環境の変化に対応した買付により自己株式が3千4百万円純増したことや、投資有価証券の時価下落に伴うその他有価証券評価差額金の減少1千6百万円などによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ1.4ポイント増加し67.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増加は2億4千2百万円（前第2四半期連結累計期間1億2千1百万円の増加）であります。

資金の増加の主な要因は、賞与引当金の減少額6千8百万円、たな卸資産の増加額7千6百万円、未払金の減少額5千8百万円により減少したものの、税金等調整前四半期純利益1億8百万円の計上や減価償却費で2億6千4百万円の計上、売上債権の減少額1億5千2百万円により増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、2億7千5百万円（同5億5千万円の減少）であります。

資金の減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出2億4千2百万円、無形固定資産の取得による支出1千5百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、3億9千万円（同2億3千5百万円の増加）であります。

資金の減少の主な要因は、長期借入金の返済による支出2億6千2百万円、自己株式の取得による支出6千1百万円、配当金の支払額5千3百万円によるものです。

以上により当第2四半期連結累計期間末における資金は前連結会計年度末に比べ4億3千万円減少し、9億9千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は凍豆腐事業の好調な売上により概ね順調に推移しており、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想から変更はありません。なお、当社医療用食材での食中毒事故による連結業績予想への影響は現在精査中であり、その影響が重要であると判断した時点で速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,718,696	2,304,378
受取手形及び売掛金	1,678,121	1,525,040
たな卸資産	796,846	872,596
その他	56,189	86,041
貸倒引当金	△5,381	△5,043
流動資産合計	5,244,471	4,783,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,777,769	5,817,960
減価償却累計額	△4,462,422	△4,507,607
建物及び構築物（純額）	1,315,347	1,310,352
機械装置及び運搬具	6,409,803	6,660,595
減価償却累計額	△5,319,122	△5,350,197
機械装置及び運搬具（純額）	1,090,681	1,310,397
土地	1,701,244	1,701,244
リース資産	202,426	202,426
減価償却累計額	△100,408	△118,248
リース資産（純額）	102,018	84,177
建設仮勘定	4,590	31,519
その他	450,196	454,506
減価償却累計額	△381,766	△382,502
その他（純額）	68,429	72,003
有形固定資産合計	4,282,310	4,509,696
無形固定資産	101,972	75,464
投資その他の資産		
投資有価証券	590,354	565,840
繰延税金資産	11,740	5,056
その他	63,764	60,606
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	665,798	631,441
固定資産合計	5,050,082	5,216,602
資産合計	10,294,553	9,999,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	544,221	589,989
短期借入金	511,371	462,114
リース債務	44,596	39,084
未払金	445,517	628,202
未払法人税等	52,645	39,936
賞与引当金	130,826	62,065
設備関係支払手形	67,512	62,959
その他	261,363	135,497
流動負債合計	2,058,054	2,019,850
固定負債		
長期借入金	1,133,979	930,441
リース債務	73,902	56,694
長期未払金	89,555	90,725
繰延税金負債	-	23,672
資産除去債務	47,794	47,943
その他	6,350	6,350
固定負債合計	1,351,581	1,155,827
負債合計	3,409,635	3,175,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,746,208	3,750,277
自己株式	△131,819	△166,508
株主資本合計	6,864,657	6,834,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△88,019	△104,658
為替換算調整勘定	62,856	50,321
その他の包括利益累計額合計	△25,162	△54,337
非支配株主持分	45,423	44,237
純資産合計	6,884,918	6,823,937
負債純資産合計	10,294,553	9,999,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,855,299	4,223,409
売上原価	2,777,525	2,957,031
売上総利益	1,077,774	1,266,377
販売費及び一般管理費	1,135,264	1,163,884
営業利益又は営業損失(△)	△57,489	102,492
営業外収益		
受取利息	2,086	2,060
受取配当金	5,581	7,234
受取保険金	2,602	1,251
受取技術料	5,800	5,486
補助金収入	2,250	580
雑収入	6,855	6,189
営業外収益合計	25,177	22,803
営業外費用		
支払利息	3,271	3,682
雑損失	779	1,381
営業外費用合計	4,051	5,064
経常利益又は経常損失(△)	△36,363	120,232
特別利益		
固定資産売却益	589	-
特別利益合計	589	-
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	10,751	3,920
有価証券評価損	-	7,393
特別損失合計	10,751	11,314
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△46,525	108,917
法人税、住民税及び事業税	8,974	9,964
法人税等調整額	△11,328	32,729
法人税等合計	△2,354	42,693
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44,171	66,224
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	206
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△44,275	66,017

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△44,171	66,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,345	△16,639
為替換算調整勘定	△16,499	△13,927
その他の包括利益合計	△4,153	△30,567
四半期包括利益	△48,325	35,657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,779	36,843
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,546	△1,186

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△46,525	108,917
減価償却費	268,707	264,791
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,696	△225
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,435	△68,760
退職給付制度移行未払金の増減額(△は減少)	△196,954	△806
受取利息及び受取配当金	△7,668	△9,295
支払利息	3,271	3,682
固定資産売却損益(△は益)	△589	—
固定資産除却損	10,751	3,920
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7,393
売上債権の増減額(△は増加)	31,127	152,222
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,146	△76,804
仕入債務の増減額(△は減少)	60,633	51,238
未払金の増減額(△は減少)	△38,289	△58,852
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,590	△32,404
その他	63,808	△90,398
小計	117,403	254,619
利息及び配当金の受取額	7,675	9,302
利息の支払額	△2,688	△3,277
法人税等の支払額	△1,383	△18,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	121,007	242,062
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,185,867	△1,199,594
定期預金の払戻による収入	1,118,114	1,183,738
有形固定資産の取得による支出	△344,677	△242,114
有形固定資産の売却による収入	589	—
無形固定資産の取得による支出	△1,000	△15,379
投資有価証券の取得による支出	△138,442	△1,891
貸付金の回収による収入	75	—
その他	642	△83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△550,566	△275,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	500,000	—
長期借入れによる収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	△198,992	△262,795
リース債務の返済による支出	△20,082	△22,720
自己株式の取得による支出	△606	△61,546
配当金の支払額	△45,128	△53,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	235,190	△390,934
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,779	△5,978
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△200,148	△430,173
現金及び現金同等物の期首残高	1,145,449	1,429,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	945,301	999,752

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。